

目録・装備の外注化

帯広畜産大学附属図書館のアウトソーシング

帯広畜産大学教育研究協力部学術情報課

清水 夫美子

2007.8.3

1. 背景



- 新規の図書館職員の確保が困難
- 専任の人員確保が困難となってきた
 - 現在は目録担当者1人
 - 大学の中期目標である業務の効率化を図る

2. 検討から実施まで（1）

- 2005年6月 TRCなどアウトソーシングパンフの請求等外部委託の調査開始
- 2005年7月 アウトソーシングの調査方法を検討
 - －委託業者（＊）と内容を一覧にして検討材料作成
 - －サンプリング＝20冊程度を2～3回依頼し判断
 - －依頼書発送＝発注予定冊数と装備概要を記し，価格調査（定価納入で条件が揃うか否か）なお，資料バーコードラベル貼付については，業務上の流れより本学で行うことにする。（委託に含めない）

（＊）TRC,丸善,紀伊国屋書店, 大学生協

2. 検討から実施まで（2）



- 2005年8月 アウトソーシング発注図書準備
- 2005年8月末 同図書納品 確認と目録修正
- 2005年9月アウトソーシング試行結果表作成
- 2005年10月アウトソーシング見積原本を財務課の契約担当者に渡す
 - －業者と見積もり合わせ依頼（TRC辞退）
 - －従来取引のあった市内の書店へも依頼（1社を除き辞退）

2. 検討から実施まで（3）



- 2005年11月業者決定
 - 洋書は丸善 和書は大学生協
 - 金額面や納期等により決定
- 2005年12月アウトソーシング開始
- 2006年11月見積もり合わせの結果，和書洋書とも丸善となる

3. 何をアウトソーシングしたか

- 図書目録業務と装備業務

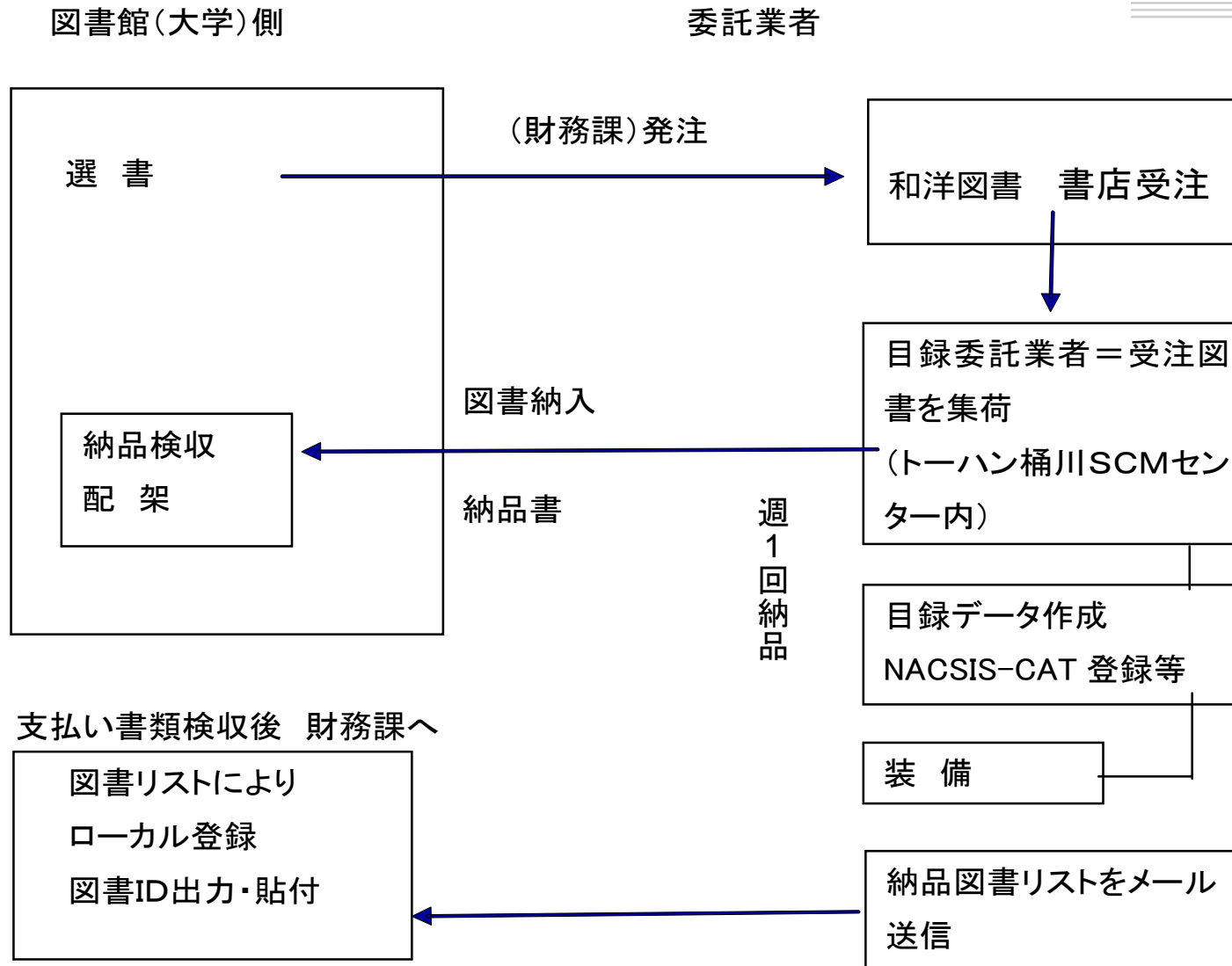
- －NACISIS CAT書誌及び所蔵登録
- －背ラベル・貸出し期限表・タイトルテープの貼付, 表紙と本体の貼り付け(カバー固定)

{－登録番号印字(資料IDラベルはローカル目録に登録後打出し, 貼付する)}は本学で

4. 実施要領

- 実施要領作成
 - － 契約担当の財務課へ実施要領を渡す
- 財務課契約担当部署
 - － 仕様書・見積書作成,
 - － 業者見積り合わせ
- 仕様書に挙げた具体的な内容
 - ・ 装備の仕様に関すること
 - ・ 目録のNACISIS-CATへの登録及び作成に関すること
 - ・ 分類番号に関すること ・ 委託期間 ・ 委託の決定
 - ・ 委託の解除 ・ 絶版, 品切れ等事故の報告義務

アウトソーシングの流れ



5. 委託業者の選択



- 価格面
 - －アウトソーシングも含む図書納入価格により決定
- 納入期間
 - －2年次目には、納入期間も考慮＝短縮
- 連絡等の取りやすさ
 - －委託業者とのパートナーシップの確立

6. アウトソーシングしなかった目録関連業務

- 図書 の 検収 と 受入
- アウトソーシング納品以外の購入図書 の 目録登録作業 及び 装備
- アウトソーシング納品図書 の 資料ID貼付作業
- 目録データ の 整備 と 装備業務
- 転退職者等 の データ の 書き換え
- 寄贈図書 の 受け入れ, 装備

7. アウトソーシングしたメリット



- 競争により, コストダウンが図られた
- 目録業務と装備の軽減化が図られた
 - 購入図書約8割方がアウトソーシングにより納入
- 納入期間の短縮が図られた

8. 問題点

- 登録書誌の検収や訂正
 - －NACISIS-CAT新規作成の訂正にかかるリスク
 - －文庫本など、低価格の図書を目録作業を下請けに発注され、目録の品質低下や訂正に時間がかかった。

9. 今後の課題



- 委託業者の決定は
 - 実績を評価するのか
 - コスト面を考慮するのか
- 大学の財政事情と人事計画
 - 専任職員の人材養成や世代交代を念頭に置きつつ
- 業務分析と経費の試算
 - 全体的な業務把握とアウトソーシングの範囲の確立

10. アウトソーシングで、何を手に入れるのか？

- 業務の軽減化で、他の何かを行うのか？
 - －世代交代などによる人材の養成にかかる時間を捻出する
 - －サービス面の企画や実施
 - －中期目標等の達成にかかる時間
- ヒトの削減が目的か？
 - －人件費削減や残業の軽減化
- アウトソーシングが安易に導入されると
 - －非正規職員の増加，派遣職員の増加？
 - －図書館の専門職としての地位の低下をもたらす？

終わりに

図書館を取り巻く状況を意識して

それぞれのレイアウトで！

2007.8.3